

公会計事業別財務書類分析シート

分析シートの解説
(公会計事業：河川費)

決算対象年度：令和05年度 対象年月：令和 6年 3月
 会計：一般会計
 局：県土整備局
 所属：県土整備局河港課(直通 045-210-6475)
 公会計事業：河川費

1 主な事業内容

- ・遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等の大規模事業について、重点的、集中的に実施する。
- ・堆積土砂の除去や施設の機能を維持するための護岸補修等、適切な維持管理を実施する。
- ・総合的な土砂管理を推進するため、相模川及び酒匂川で置き砂等を実施する。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	R03決算	R04決算	R05決算	R03-R04増減率	R04-R05増減率
経常費用	54,108,662	52,654,188	49,292,966	△2.7%	△6.4%
人件費	1,291,689	1,321,145	1,286,655	2.3%	△2.6%
物件費等 ※	48,211,135	47,155,235	43,775,741	△2.2%	△7.2%
物件費	4,261,794	4,510,650	5,367,420	5.8%	19.0%
維持補修費	6,680,409	6,299,072	6,791,368	△6.9%	9.2%
減価償却費	32,004,237	31,164,422	30,874,627	△2.6%	△0.9%
移転費用 ※	3,975,256	3,638,730	3,748,401	△8.5%	3.0%
補助金等	-	-	-	-	-
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	593,230	582,511	589,788	△1.8%	1.2%
使用料・手数料	53,262	49,224	88,435	△7.6%	79.7%
その他	53,462,150	△52,022,453	△48,614,744	2.7%	6.6%
①行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)：	88	10,639	0	10,000%以上	△100.0%

①行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)：
 物件費 ⇒ 8.6 億円 (19.0%) 増加 222

②貸借対照表(資産の部)：

工作物 ⇒ { 10,779千円(工作物(事業用資産))
 - 10,779千円(工作物(減価償却累計額))
 +2,596,260,566千円(工作物(インフラ資産))
 -2,168,156,316千円(工作物(減価償却累計額)) }
 ÷ 477,620,567千円(資産合計) = 89.6%
 ※減価償却分を差し引いた金額で内訳を計算しています。

③貸借対照表(負債の部)：

県債 ⇒ {154,129,448千円(固定負債(県債))
 + 9,410,490千円(流動負債(県債)) }
 ÷ 164,256,871千円(負債合計) = 99.6%
 ※固定負債と流動負債の県債を合計して内訳を計算しています。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	R04決算	R05決算	増減率	科目	R04決算	R05決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	498,658,319	477,619,328	△4.2%	固定負債	156,759,337	154,757,879	△1.3%
有形固定資産	498,571,535	477,540,593	△4.2%	県債	156,121,824	154,129,448	△1.3%
事業用資産	3,369,770	3,369,723	0.0%	長期未払金	-	-	-
土地	3,348,616	3,348,616	0.0%	退職手当引当金	637,512	628,431	△1.4%
建物	44,415	44,415	0.0%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△24,883	△26,083	4.8%	その他固定負債	-	-	-
工作物	10,279	10,779	4.9%	流動負債	14,052,312	9,498,991	△32.4%
工作物減価償却累計額	△10,279	△10,779	4.9%	県債	13,963,557	9,410,490	△32.6%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	1,623	2,774	71.0%	賞与等引当金	88,756	88,501	△0.3%
インフラ資産	494,844,035	473,834,980	△4.2%	預り金	-	-	-
土地	12,478	12,478	0.0%	その他流動負債	-	-	-
建物	2,753,370	2,753,370	0.0%				
建物減価償却累計額	△819,342	△878,368	7.2%	⑤貸借対照表(資産の経年比較)：62.8億円(16.7%)増			
工作物	2,592,822,179	2,596,260,566	0.1%				
工作物減価償却累計額	△2,137,491,593	△2,168,156,316	1.4%				
その他	-	-	-				
建設仮勘定	37,566,943	43,843,249	16.7%				
物品	357,730	335,891	△6.1%				
無形固定資産	8,721	6,541	△25.0%				
投資その他の資産	78,063	72,194	△7.5%				
流動資産	1,230	1,239	0.7%				
資産合計	498,659,549	477,620,567	△4.2%	負債合計	170,811,649	164,256,871	△3.8%
				純資産合計	327,847,901	313,363,696	△4.4%
				負債及び純資産合計	498,659,549	477,620,567	△4.2%

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含まれる。

④貸借対照表(純資産合計)：313,363,696千円 ÷ 477,620,567千円 = 65.6%

4 事業分析

①行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R04-R05の比較)は、物件費が8.6億円(19.0%)増加しています。要因としては、河川修繕等に伴う測量委託を実施したことによるものです。

②貸借対照表(資産の部)

R05決算の内訳は、工作物が4,281.0億円で、資産の89.6%を占めています。そのほか、建設仮勘定が438.5億円、土地は33.6億円となっています。

③貸借対照表(負債の部)

R05決算の内訳は、県債が1,635.4億円で、負債の99.6%、退職手当引当金が6.2億円で0.4%を占めています。

④貸借対照表(純資産合計)

R05決算では、資産合計4,776.2億円から負債合計1,642.6億円を差し引いた3,133.6億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は65.6%です。

⑤貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(R04-R05の比較)は、建設仮勘定が62.8億円(16.7%)増加しています。要因としては、河川改修工事を実施しているためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。